

令和元年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	所管部局	経済部	作成責任者	経済部食産業振興監 甲谷 恵	施策コード	05 — 02
		照会先	食関連産業室マーケティングG (内26-817)	関係課	食関連産業室		

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
	2	経済・産業	(2)	本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造	B	地域資源を活かした食関連産業の振興	商談会等における国内成約件数	
北海道創生総合戦略	A3212,A3214	北海道強靱化計画	B4221	知事公約	C0084,C0113			
特定分野別計画等								

1 目標等の設定

現状と課題	<p>・本道の食品工業は、平成28年の製造品出荷額が2兆4,265億円(全国シェア6.4%)で全国1位であり、製造業全体の40.1%を占め、地域の経済や雇用を支える重要な産業として発展しているが、素材提供型の色合いが強く、付加価値額は7,002億円で全国3位、付加価値率は28.9%で全国の33.4%と比較して4.5ポイント低い。国内の食市場は、人口減少や高齢化の進行などにより縮小傾向にあるとともに、食品の安全性・環境への関心の高まりや激しい市場競争、地域間競争、TPP協定交渉の合意などにより、その取り巻く環境は大きく変化。</p> <p>・マーケットニーズ等に対応した製品開発や既存製品の磨き上げなどにより付加価値をより高めていくとともに、国内はもとより、今後、経済発展や人口増加などにより市場拡大が見込まれるアジアを中心とした海外への販路開拓を進めることが必要。</p>	施策目標	<p>・民間と協働した付加価値の高い商品の発掘・磨き上げなど、北海道ブランドの確立に向けた競争力強化や、道内外に向けた道産食品の販路拡大を行う。</p>
-------	---	------	--

施策の推進体制 (役割・取組等)	政策体系	役割等	政策体系	役割等	施策の予算額	
	2(2)B	[道]	<ul style="list-style-type: none"> 企業や団体など関係者との連携体制や推進体制の構築 アンテナショップである「北海道どさんこプラザ」の運営支援 道内企業の販路拡大、物産振興事業に対する補助 			H29
[国]		<ul style="list-style-type: none"> 民間や地域の取組のバックアップ 			H30	59,023
[民間]		<ul style="list-style-type: none"> 首都圏における道産品の展示、販売斡旋、マーケティング支援等を行う「北海道どさんこプラザ」の運営 			R1	68,192

今年度の取組	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
	2(2)B	◎包括連携協定を結んでいる企業等との連携・タイアップにより販路拡大事業を実施する。 ◎首都圏において道産品の展示や斡旋販売、企業のマーケティング支援及び観光情報の提供などを行う「北海道どさんこプラザ」の運営を支援する。 ◎道産品の販路拡大に係る各施策を効果的・効率的に展開するため、(一社)北海道貿易物産振興会が実施する道内企業の販路拡大・物産振興事業に対して補助する。 ◎首都圏において地域の食と観光を国内外の方々へPR		

前年度付加意見への対応状況(平成31年3月末時点)

<意見区分； 施策目標の達成状況・事務事業の有効性>

	事務事業整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部局の対応(平成31年3月末時点)
施策 事務事業				

<事務事業評価 意見区分； 前年度評価結果への対応など>

	事務事業整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部局の対応(平成31年3月末時点)
事務事業				

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			備考
		北海道 創生総合戦略	北海道 強靱化計画	知事公約	
2(2)B	首都圏における道産品の展示販売や斡旋・企業のマーケティング支援などを行う「北海道どさんこプラザ」の運営を支援した。平成30年度のどさんこプラザ有楽町店の売上額は1,026百万円で、前年度比プラス0.5%と前年より増加した。	A3212、 A3214	B4221	C0084,C0113	
2(2)B	道産品の販路拡大に係る各施策を効果的・効率的に展開するため、(一社)北海道貿易物産振興会が実施する道内企業の販路拡大・物産振興事業に対して補助金の交付決定を行った。令和元年6月に開催した北海道産品取引商談会(札幌会場)には、340社が出展、2,195名のバイヤーが参加し、商談の機会が創出された。	A3212、 A3214	B4221	C0084,C0113	
2(2)B	平成30年5月、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、北海道の食と観光を発信し、道産食品のさらなる販路拡大と道内への観光誘客を行うため、東京都で最も人気の高い街である吉祥寺の百貨店内に、北海道どさんこプラザ吉祥寺店を出店した。	A3212、 A3214	B4221	C0084,C0113	
2(2)B	「楽天市場」内に開設している「北海道どさんこプラザ楽天市場店」において、現在どさんこプラザが設置されていない地域に対しても道産品のPRを図ることで、道産品の更なる販路拡大を推進した。平成30年度の売上高は18,166千円となった。	A3212	B4221	C0084,C0113	
2(2)B	令和元年6月、海外3店舗目となる「北海道どさんこプラザシンガポール2号店」を開店した。	A3212、 A3214	B4221	C0084,C0113	

(2) その他の取組の成果等

国等要望・ 提案状況		施策に 関する 道民ニーズ	商談会の来場者(バイヤー)数は増加傾向にあるが、一部の出展者からは来場者数が少ない、バイヤーのカテゴリーや業種に偏りがあるなどの意見があったことから、出展者の協力を得ながら案内先を増やし、来場バイヤー数を増加させ、幅広い業種のバイヤーに来場してもらうことで、出展者の商談機会の拡大が図られるよう努めた。 (北海道産品取引商談会開催後に出展者に対してアンケートを郵送し意見聴取)
---------------	--	---------------------	---

令和元年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05 - 02
-----	-----------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
2(2)B	保健福祉部や農政部、水産林務部と連携して、食品衛生対策や農産物、水産物などの競争力強化を推進	0410	保健福祉部健康安全局食品衛生課	シンガポールでの道産食材PRイベント等の実施にあたり、農政部等の海外販路拡大事業と連携して取組を実施した。
		0704	水産林務部水産局水産経営課	
		0601	農政部食品政策課、農産振興課、畜産振興課、農政課	
		0501 0503	経済部食関連産業室	

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果
包括連携協定を結んでいる企業等との連携により販路拡大事業を実施 ・展示会への出展や商談会・セミナーの開催(サッポロビール、北洋銀行、北海道銀行) ・「北海道どさんこプラザ札幌店」のサテライト店を、コープさっぽろ倶知安店内に開設 ・「楽天市場」内に「北海道どさんこプラザ楽天市場店」を開設 ・海外への販路拡大支援(伊藤忠)	サッポロビール、コープさっぽろ、伊藤忠、楽天、北洋銀行、北海道銀行	・展示会への出展や商談会等の開催を予定(サッポロビール、北洋銀行、北海道銀行) ・「北海道どさんこプラザ札幌店」のサテライト店(コープさっぽろ倶知安店内)において、外国人居住者に向けたテストマーケティング等を実施 ・「楽天市場」内の「北海道どさんこプラザ楽天市場店」において、どさんこプラザが設置されていない地域に対しても道産品のPRを図り、道産品の更なる販路拡大を推進 ・海外への販路拡大支援のため、タイ国内の物流において連携(伊藤忠)

令和元年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05 - 02
-----	-----------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
--------------------------------	-----------------

3 成果指標の設定 (H:平成 R:令和、大文字は年度、小文字は暦年)	3-2 成果指標の達成度合
-------------------------------------	---------------

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	B	評価年度	H30	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	R1	最終年度	R7					
商談会等における国内成約件数	基準年度	H26	年度	R1	最終年度	R7	年度	H30	R1	進捗率	道や関係団体等が主催する商談会については、積極的な周知等により出展企業数、参加バイヤー数が安定しており、概ね目標達成となる。	
	基準値	3,422	目標値	3,781	最終目標値	4,300	目標値	3,706	3,781	4,300		
〔指標の説明〕 国内で道や団体等が主催する商談会の開催により成約となった取引件数	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		実績値	3,496	-	3,496		
	北海道総合計画		2(2)B	増加	$\frac{((\text{実績値}-\text{基準値})/(\text{目標値}-\text{基準値})) \times 100}{}$		達成率	94.3%	-	81.3%		

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
		直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満

令和元年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05	—	02
-----	-----------	-------	----	---	----

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式1)

4 事務事業の設定

整理番号	政策体系	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの繰越事業費(千円)	令和元年度					フルコスト(千円)
						事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			
								本庁	出先機関	人工計	
0125	2(2)B	民間企業等との提携・タイアップ事業に関する事	包括連携協定を結んでいる企業等との連携・タイアップによる販路拡大事業の実施	食関連産業室		0	0	0.4	0.0	0.4	3,188
0126	2(2)B	道産品販路拡大促進費(北海道物産観光展示所運営費)	首都圏において道産品の展示や斡旋販売、企業のマーケティング支援及び観光情報の提供などを行う「北海道どさんこプラザ」の運営に関する事務	食関連産業室		44,323	7,771	1.3	0.0	1.3	54,684
0127	2(2)B	貿易物産振興事業費補助金((一社)北海道貿易物産振興会)	道産品の販路拡大に係る各施策を効果・効率的に展開するため、(一社)北海道貿易物産振興会が実施する道内企業の販路拡大・物産振興事業に対して補助	食関連産業室		15,027	15,027	0.9	0.0	0.9	22,200
0128	2(2)B	北海道どさんこプラザに関する事務	テスト販売、マーケティングサポート催事の募集及びマーケティングアドバイザーの派遣に関する事務	食関連産業室		0	0	0.9	0.0	0.9	7,173
0129	2(2)B	情報提供に関する事務	道産品展示コーナーを活用した道産品の募集、展示に関する事務。中小企業者やバイヤーへの情報提供。	食関連産業室		0	0	0.1	0.0	0.1	797
0130	2(2)B	北海道貿易物産振興会に関する事務	総会等への出席及び相談指導事務(北海道貿易物産振興会)	食関連産業室		0	0	0.2	0.0	0.2	1,594
0131	2(2)B	在道都府県協議会に関する事務(総務管理諸費)	総会の出席、情報交換及び負担金交付事務	食関連産業室		80	80	0.1	0.0	0.1	877
0132	2(2)B	北海道物産展の後援、道産品販売促進キャンペーンに関する事務	百貨店やスーパーが開催する北海道物産展の後援承認及びキャンペーンロゴの使用許可、のぼりの貸与に関する事務	食関連産業室		0	0	0.4	0.0	0.4	3,188
0133	2(2)B	国際大会等を契機とした食と観光の魅力発信事業(創生交付金)	国際大会等の開催を契機に国内外の需要獲得を目的として、首都圏において道内各地域の食と観光の魅力をPRし、道産品のブランド力向上を図る。	食関連産業室		8,762	5,098	0.2	0.0	0.2	10,356
計					0	68,192	27,976	4.5	0.0	4.5	

令和元年度 基本評価調書

施策名

道産食品の販路拡大

施策コード

05 - 02

Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部局等による評価)

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A	B	C	D	-		
	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可		
2(2)B		1				A・B指標のみ	<商談会等における国内成約件数【A】> ・道や団体等が主催する商談会については、積極的な周知等により、出展企業数、参加バイヤー数が増加しており、これに伴い成約件数も増加している。
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	0	1	0	0	0	A・B指標のみ	

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	・道産品の販路拡大に関して、効果的な取組を推進していることが認められる。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	-	
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立てているか	○	・商談会の開催時にアンケートを実施するなど、施策の利用者から意見を聴取しており、施策の効果改善に役立てている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	・道産食品の海外販路の拡大に関し、関係部と連携した取組が行われている。
	施策の推進に当たり、地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか	○	・包括連携協定企業との連携により道産食品の販路拡大に向けた取組が行われている。
判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価と対応方針等

成果指標の分析		取組の分析	総合評価					
判定(計)		判定						
A・B指標のみ		a	概ね順調に展開					
対応方針			関連する事務事業			関連する計画等		
対応方針番号	政策体系	内 容	方向性	事務事業整理番号	事務事業名	北海道創生総合戦略	北海道強靱化計画	知事公約
①	2(2)B	商談会等における国内成約件数は目標に対して概ね順調に推移しており、今後も商談会の開催により商談機会を創出し、道産食品の販路拡大を図る。				A3212,A3214	B4221	C0084,C0113

前年度付加意見への対応状況(事務事業)

事務事業整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部署の対応(評価時点)

令和元年度 基本評価調書

施策名

道産食品の販路拡大

施策コード

05 — 02

Action 施策・事務事業評価

7 評価結果の反映

(1) 一次評価結果への対応

対応方針 番号	対応	事務事業
①	<新たな取組等> 引き続き、商談会の開催等により商談機会を創出し、積極的な周知により多くのバイヤーが参加するよう努め、更なる成約件数の増加を図る。	改善: 貿易物産振興事業費補助金

(2) 二次評価結果への対応(付加意見への対応状況)

(3) 事務事業への反映状況

方向性	拡充	改善	縮小	統合	廃止	終了	合計
反映結果							0

次年度新規事業 (予定)
0

整理番号	事務事業名	一次政策評価に おける方向性(再掲)	次年度の方向性 (反映結果)